

牛久：学校周辺に見る自然

第19号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年6月6日発行

＜ 初夏しよかのみずべ公園 ～⑩カタバミに来る虫たち ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きものかんさつ観察、今回はカタバミと、そこに来た虫たちの紹介しょうかいです。



シロツメクサに似た三つ葉で、花びら5枚の黄色い花を咲かせるカタバミ。ヤマトシジミの幼虫ようちゆうが、葉を食べる。



校庭でもよく見かける、カタバミです。「葉っぱをかむと酸っぱいんだよ。」と教えてくれた子がいました。葉や茎に酸っぱい物質を何種類か含んでいて、ヒツジが食べると腎臓を悪くするという報告もあるようですが、ヤマトシジミの幼虫はこの葉を食べて育ちます。そのヤマトシジミの成虫が、この日はみつを吸いに来ていました。小さなハナバチもいます。ホソヒメヒラタアブも、みつや花粉かふんをなめに来ていました。【理科支援員：宮内】



カタバミのみつを吸うヤマトシジミ(左上)と、小さなハナバチ(左下)。みつや花粉かふんをなめる、ホソヒメヒラタアブ(右)。